

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施による効果検証

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費					補助対象外経費	成果目標 (定量指標)	事業実施による効果検証
				補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	その他	補助対象外経費			
1	総務課	防災活動支援事業	感染症蔓延期において、近年頻発、激甚化する自然災害等に備えるため、避難所の運営に必要な資機材及び衛生環境確保のために必要な資材等を整備する。	8,652,705	8,652,705	-	8,652,705	-	-	避難所へ感染症対策に必要な資機材を整備し、災害時における衛生環境確保を図る。	災害時における感染症対策に配慮した避難所運営の準備が出来た。町内8ヶ所の避難所へ資機材の整備を実施した。
2	政策企画課	生活バス路線運航維持費補助金	路線バスの収益の大幅減により、事業者の負担が増加し、厳しい経営環境に陥っていることから、地域の移動手段確保のため、運航に係る追加補助を行う。 対象者：バス事業者(とさでん交通)	480,000	480,000	-	480,000	-	-	乗車人数の減少見込み20%への経営補助。 R1乗車人数実績 72,408人 R2乗車人数実績 58,586人 減少率 -19.1%	乗車人数の減少による収益減への経営補助を実施。 ・R1乗車人数実績 72,408人 ・R2乗車人数実績 58,586人 減少率 -19.1%
3	健康福祉課	季節性インフルエンザ等予防接種促進事業	新型コロナウイルス感染症の第二波に備える中、今後、季節性インフルエンザ発症者との見分けがつかず、医療現場が混乱することが懸念される。また町内商店が新型コロナウイルスの影響により経営が大変厳しくなっている現状から、予防接種者に対し領収書等と引換に商工会商品券(1,000円/回)を配布し、接種率の向上(64歳までの接種率50%を目標)と地域経済の活性化を同時に進める。 対象者：本山町に住所を有する64歳までの方	1,160,033	1,160,033	-	1,160,033	-	-	事業対象者数(生後6か月以上65歳未満の住民)約1,800人に対し接種率50%を目標とする。	実績：448人 (R2.10.1現在事業対象者2,104人(接種率21.3%)) 目標は達成できなかったが、インフルエンザ予防接種の勧奨となり、商品券を配布することで地域経済の活性化にもつながった。
4	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の受入れ促進事業	コロナ入院病床で使用する滅菌対応ゴーグル・ハンディナース子機を購入し、医療従事者や入院患者への感染を防止する。 対象施設：嶺北中央病院	330,000	330,000	-	330,000	-	-	ゴーグル：100個 ハンディナース子機：2台	コロナ入院患者の病棟と看護師との連絡手段の一つにハンディナース子機を使用。 ゴーグルは入院患者・発熱外来のコロナ患者の検体採取の際使用したことで、医療従事者への感染を防止できた。
5	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」自宅で医療・フレイル対策推進環境整備事業	外出自粛に伴い医師・看護師等が往診を行うニーズが高まり車両の整備をすることにより、感染症拡大を防止する。現在訪問で利用できる車両が1台のため車両の確保により、さらなる訪問患者の増加に対応できるように努める。 対象施設：嶺北中央病院	1,149,840	1,149,840	-	1,149,840	-	-	コロナ感染を考え外出を自粛する患者の増加により、フレイル対策の一貫として訪問診療・訪問看護を充実させる。 軽車両：1台 訪問診療 R2見込み：10件 訪問看護 R2見込み：35件	訪問診療・訪問看護を充実させることが出来た。 訪問診療 実績：11件 訪問看護 実績：42件
6	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」遠隔診療・遠隔リハビリテーション等支援事業	遠隔面会・遠隔診療(オンライン診療)を実施することにより、院内感染症拡大を防止すると共に、患者への感染リスクの軽減を図り、さらなる緊急事態に備える。 対象施設：嶺北中央病院	2,125,024	2,125,024	-	2,125,024	-	-	無線LANネットワーク工事 *ipad: 3台 *ipadmini: 5台 *iphone: 1台 オンライン面会件数 R2年度見込み: 15件 R3年度見込み: 200件 LINE面会 R2: 見込み2件 R3: 見込み5件	院内感染症拡大を防止すると共に、患者への感染リスクの軽減が図れた。 オンライン面会件数 R2: 実績21件 R3: 実績194件 LINE面会 R2: 実績0件 R3: 実績3件
7	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」ドライブスルー・ウォークインPCR検査等導入事業	嶺北中央病院の所在する嶺北地域にはPCR検査の検査を実施できる病院は当院のみであり、現在院内でのPCR検査を実施しているが、今後、感染拡大等が予測されるなか、コロナウイルス感染症患者と他の疾患の患者等の分別を行うことにより、院内での感染リスクを下げることを目的とする。それにはドライブスルー・ウォークイン等の方法を採用し、多数の対象者にPCR検査を実施出来るようにする。進入路と考えている車道・歩道が築20年を経過することにより、劣化や地盤の沈下等により修繕が必要となった。 対象施設：嶺北中央病院	6,820,000	6,820,000	-	6,820,000	-	-	PCR検査(ドライブスルー・ウォークイン)のための進入路改修工事	コロナ検査件数 令和2年度 (令和3年2月～3月): 25件 令和3年度: 893件

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費					補助対象外経費	成果目標 (定量指標)	事業実施による効果検証
				補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	その他	補助対象外経費			
8	まちづくり推進課	本山町プレミアム付商品券事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、町内で居住する方の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、全住民向けのプレミアム付商品券を発行する。 対象者：町民	12,769,925	12,769,925	-	12,769,925	-	-	全住民向けのプレミアム商品券（販売10,000円、額面12,500円）を販売し、地域内の消費を喚起する。 実績： 換金枚数：94,414枚 換金金額：47,207,000円	
9	教育委員会	公立学校情報機器整備事業(単独)	新型コロナ感染症拡大対策の学校臨時休業時の家庭学習等に活用するため、更新分、教員用等のタブレットパソコンを整備する。	5,672,810	5,672,810	-	5,672,810	-	-	全児童生徒と全教員にタブレット端末を整備することで、学校臨時休業等の遠隔授業等を実施する体制を整備する。	整備前：124台 整備後：254台
10	教育委員会	新型コロナウイルス対策学校学習環境整備	学校内の備品等を整理し、密集・密接を避けるための学習環境を整える。 対象施設：本山小学校	373,230	373,230	-	373,230	-	-	備品等を整理し廃棄することで、教室内を整理し、3密対策に必要な空間を確保する。	感染地域レベルに応じた児童同士の間隔の確保と感染拡大時の予備教室として3室確保することが出来た。
11	まちづくり推進課	高知県休業等要請協力金負担金	①高知県実施の休業等要請に応じた県内中小企業または個人事業主の事業継続支援に対する負担金の高知県への負担金(県20万円、市町村10万円) 対象者：高知県	1,100,000	1,100,000	-	1,100,000	-	-	高知県実施の休業等要請に伴う負担金 対象事業者：11事業者 100,000円×1事業者 =1,100,000円 事業実施率100%	申請事業者：11事業者 100千円×11事業者 =1,100,000円 事業実施率100%
12	総務課	感染拡大防止対策事業	町民及び職員の感染予防のための物品の購入や施設整備 消毒液やマスク等の消耗品購入、公共施設の衛生環境改善(設備投資、物品購入)、行事等の延期・中止に伴う経費に使用する。	7,156,842	7,156,842	-	7,156,842	-	-	適切な購入・使用等	公共施設での感染症対策に備えることが出来た。 町内感染者：0人
13	総務課	感染拡大防止対策事業	町バスは地域のイベントや学校行事などで頻りに使用している。乗客が密集を避けるため、バスの台数を増やす。これにより新型コロナウイルス感染拡大を防止する。	7,009,037	7,009,037	-	7,009,037	-	-	バスの台数：1台→2台	従来は1台で運用していたものを2台で運用するなど密にならないよう工夫することができ感染予防することが出来た。 町内感染者：0人
14	総務課	感染拡大防止対策事業	平常時は町民に感染症予防啓発等の広報活動や業務連絡を行うほか、非常時には、避難所等への物資の輸送や情報伝達の役割も担う広報指令車の整備を行う。	4,389,280	4,389,280	-	4,389,280	-	-	広報活動により、感染症予防啓発を図るほか、災害時の感染症対策資機材の輸送に備える。	感染症予防の普及啓発に資することが出来た。 町内感染者：0人
15	総務課	ホームページ機能強化事業	新型コロナウイルスの収束後を見据えて、減少した観光客を呼び戻し、交流人口の回復・拡大を図るため、ホームページの機能強化を図る。また、コロナ禍での災害発生時に迅速に情報を伝えるため災害に特化したホームページを作成する。	6,820,000	6,600,000	-	6,600,000	-	220,000	ホームページ閲覧数	旧ホームページとの閲覧数の確認方法が相違しているため比較することは出来ないがスマートフォン対応やホームページの見やすさなど機能は向上した。
16	政策企画課	アウトドア拠点施設防災力強化事業	町内の指定避難所が新型コロナ予防の三密対策により不足し、新たな避難所を確保する必要性が高まる中、アウトドア拠点施設に空気清浄機、除菌消臭機を整備し、近年頻発・激甚化する自然災害の発生時には避難所機能を兼ね備えることで、施設内の飲食・温浴施設や体育館の有効利用が図られ、災害時の防災対応力強化につながることを期待される。	721,600	721,600	-	721,600	-	-	アウトドア拠点施設への空気清浄機等の設置 ①空気清浄機 10台 ②小型除菌消臭器 2台	アウトドア拠点施設への空気清浄機等の設置により、災害発生時の避難所機能強化を図ることが出来た。

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	経費					成果目標 (定量目標)	事業実施による効果検証	
				総事業費	補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	その他			補助対象外経費
17	住民生活課	字切図電子化事業	土地の切図を電子化することにより、閲覧に要する時間を短縮し、感染リスクの軽減および利用者の利便性を図る。	3,520,000	3,520,000	-	3,520,000	-	-	閲覧時の職員の対応時間を極力抑えることによる感染リスクの軽減と電子化による利便性の向上を図る。	パソコンでの簡単な操作による閲覧が可能となったことにより職員の対応時間の短縮はもとより検索のしやすさや表示の見やすさ等、利用者の利便性にもつながった。
18	住民生活課	平成改製原附票電子化事業	戸籍附票の電子化により、交付に要する時間を短縮し、感染リスクの軽減および利用者の利便性を図る。	3,806,000	3,806,000	-	3,806,000	-	-	感染リスクの軽減および利用者の利便性の向上を図る。	戸籍附票の電子化により、交付に要していた時間が大幅に短縮することができ、人との接触機会が減少し、感染リスクの軽減および利用者の利便性を図ることができた。
19	健康福祉課	フレイル対策推進環境整備事業	外出自粛などによる、高齢者の運動不足による筋力低下を予防するため、医師・看護師が地域に向きフレイル予防を啓発する。そのための車両の整備を行う。	950,000	950,000	-	950,000	-	-	町内14地区で開催されている地域ミニデイ等に出向き、医師や看護師が健康教育や健康相談を実施する。また、個別の指導などを行う。	2月ミニデイ1回、3月ミニデイ8回参加。 個別指導訪問2回。
20	健康福祉課	「一般会計繰出・補助」通所リハビリテーション会計送迎支援事業	運動不足により生活機能回復と日常生活における安全確保や心身の福祉向上を図るうえで、比較的軽度の方は、通所リハビリテーションのサービスを受ける必要がある。コロナ禍の中で、高齢者の方に対して、この利用ニーズが高まっており、通所リハビリテーションの事業所として感染症対策を講じた送迎用の福祉車両を1台確保する必要がある。	4,600,000	4,600,000	-	4,600,000	-	-	福祉車両を購入し、通所リハビリ送迎時の感染対策(運転席と後部座席の間に透明シートを設置、全座席にビニールシートをかぶせ消毒しやすくなる等)をすることにより、利用者や職員の感染を防ぐ。	通所リハビリ利用者及び職員の感染者0人
21	健康福祉課	公共的空間安全・安心確保事業	介護、福祉、医療を統括する保健福祉センター施設に対して自動ドアの改修と体温機能付き顔認証カメラの設置及び窓口受付へのフェイスシートを設置し、安心・安全に住民の方が利用できるようにする。	1,879,196	1,879,196	-	1,879,196	-	-	発熱などの症状のある人の入場を禁止することによって、感染及び拡大を防止する。	町内感染者:0人
22	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」医療機関における新型コロナウイルス感染症患者の受入れ促進事業	コロナ病床の整備に伴い、ナースコール設備の更新し医療機関における新型コロナウイルス感染症患者に対応する際、医療従事者への感染防止を図る。 対象施設:嶺北中央病院	27,459,300	27,459,300	-	27,459,300	-	-	コロナ病床ナースコール設備工事 R2年度:見込み10人・100日 R3年度:見込み20人・200日	コロナ病棟等のナースコール整備により、職員への感染防止に繋がった。 コロナ病棟入院者数・入院日数 R2年度:実績9人・82日 R3年度:実績26人・282日 対応職員感染者:0人
23	まちづくり推進課	観光地魅力増進事業	今後、国内外から訪れる観光客に、安心・安全・快適に利用していただくことを目的として和式トイレから洋式トイレへの改修を行う。 併せて、イベント時に使用する備品の保管場所を確保するため、備品倉庫を整備する。 対象施設:白髪山ふれあいの村休養センター、吉野運動公園、上街公園、帰金山公園	8,463,400	8,461,000	-	8,461,000	-	2,400	和式トイレから洋式トイレへの改修及び備品倉庫を整備	和式トイレから洋式トイレへの改修により国内外から訪れる観光客に安心・安全・快適に利用していただくことにつながった。また、備品倉庫を整備することによりイベント時にスムーズな準備ができより満足の高いイベント開催につながった。 イベント開催回数:3回
24	まちづくり推進課	小規模事業者経営維持支援事業	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受け、売上が減少し、企業活動に支障が生じた小規模事業者や、高知県の緊急事態措置等により休業等を要請する期間中に店舗及び施設等の休業もしくは営業時間の短縮等の取り組みを行った小規模事業者に対し、企業活動の維持又は継続のために支援金を交付する。 対象者:4/24~5/6までの期間、休業もしくは営業短縮の行った事業者、3月~5月までの任意の月の売上が減少し、企業活動に支障が生じている事業者	4,940,000	4,900,000	-	4,900,000	-	40,000	売上減少で企業活動に支障が生じている事業者、また休業もしくは営業短縮の行った事業者に対する支援 ①経営維持支援 ②休業等支援	①24事業者:3,300,000円 ②16事業者:1,600,000円

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費					補助対象外経費	成果目標 (定量指標)	事業実施による効果検証
				補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	その他	補助対象外経費			
25	まちづくり推進課	農業者経営維持支援事業	新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受け、取引価格の下落等による農産物の売上高減少の被害があった農業者(畜産農家)に対し、農業経営の安定化支援を目的として、支援金を交付する。 対象者:3月～2月末日までの取引価格の下落等による農産物の売上高減少の被害があった農業者(畜産農家)	6,080,000	6,080,000	-	6,080,000	-	-	新型コロナウイルスの影響により下落した価格への補填を行い、畜産農家の経営安定につなげる。 コロナ前平均価格(H30) 478,687円 コロナ後平均価格(R2) 412,956円(-65,731円)	新型コロナの影響により下落した価格への補填を行い、畜産農家の経営状況改善につながった。 繁殖牛:46頭(平均支給額:77,000円) 肥育牛:18頭(平均支給額:140,000円)
26	まちづくり推進課	本山町ECサイト構築事業	外出自粛に伴い地域内で生産される農産物や加工品の販売が低下していることから、町の直販所と連携して農産物や加工品を販売できるECサイトを立ち上げ販売促進につなげる。 対象者:一般財団法人本山町農業公社	2,000,000	2,000,000	-	2,000,000	-	-	新たなECサイトの立ち上げで町内で生産される農産物や加工品の販売額増につなげる。 R2(12月～3月) 17,160円 R3 964,902円	新たな販売網が確立され、継続的な売り上げが増加しリピーター獲得につながった。 R2(12月～3月) 17,160円 R3 964,902円
27	プラチナセンター ・中央公民館	①社会生活維持関連事業者の換気システム設置応援事業	学校教育や社会教育、文化活動の社会生活の一部を支援する公共施設において、空調設備を整備し、当該施設での継続的な活動実施を支援すること。	2,860,000	2,860,000	-	2,860,000	-	-	感染予防方法の一つである窓等を開放した換気実施時に、室温に配慮した会議等の開催を支援する。	本山町プラチナセンター施設使用件数:172件(R3.1～3末)
28	プラチナセンター ・中央公民館	⑥図書館パワーアップ事業	書籍の購入により図書室の蔵書を充実させる。併せて蔵書情報管理のシステムの導入により、読書環境の充実に向けた取組を実施する。 対象施設:さくら図書室及び読書用室	445,333	445,333	-	445,333	-	-	年間貸出冊数	R1年度:10,636冊 R2年度:12,148冊 (前年度比+1,512冊)
29	プラチナセンター ・中央公民館	④オンライン会議システム整備事業	オンライン会議システムを整備し、感染拡大防止のため接触機会を減らし感染症対策を図る。	1,918,290	1,918,290	-	1,918,290	-	-	本山町プラチナセンター施設使用時に整備機器を利用し、密接を回避する状況を創出する。	使用件数:9件
30	プラチナセンター ・中央公民館	②公共的空間安全・安心確保事業	不特定多数の来場に伴う、検温器を整備することにより、感染症対策を図る。	275,000	275,000	-	275,000	-	-	体調管理方法の一つとして、各来館者に本人の体温を告知し、体調管理の強化を促すとともに、対面体制を要する会議等の開催を支援する。	本山町プラチナセンター施設 使用件数:172件(R3.1～3末) 町内感染者:0人
31	プラチナセンター ・中央公民館	⑤文化活動支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、公演日を変更したことによる要する経費を支援する。	5,614,269	5,614,269	-	5,614,269	-	-	コンサート開催を中止し、感染症拡大を未然に防止する。 ・三山ひろしコンサート ・日露交歓コンサート	町内感染者:0人
32	教育委員会	夏季学校支援員等雇用事業	新型コロナ感染症拡大防止対策による学校臨時休業により、夏季休業期間短縮されたため、学校学習支援員・学校用務員の増加となった雇用日数の報酬を保証する。 対象者:学校学習支援員・学校用務員	640,070	640,070	-	640,070	-	-	新型コロナ感染症拡大防止対策による学校臨時休業により、夏季休業期間短縮されたため、学校学習支援員・学校用務員の増加となった雇用日数の報酬を保証する。	8月雇用 学校学習支援員:6名 学校用務員:2名
33	教育委員会	学校施設コロナ感染防止対策整備事業	学校施設に網戸設置と和式トイレの洋式化により、換気と衛生環境を向上させ新型コロナウイルスの感染防止を図る。 対象施設:本山小学校、吉野小学校	13,000,000	13,000,000	-	13,000,000	-	-	学校活動中の安全な換気対策やトイレの洋式化により衛生環境を向上させ、新型コロナ感染拡大を防止する。	学校感染件数:0件

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費					補助対象外 経費	成果目標 (定量指標)	事業実施による効果検証
				補助対象事 業費	国庫補助額	交付対象経 費	その他	補助対象事 業費			
34	教育委員会	感染拡大防止対策事業	臨時的に濃厚接触者を隔離できる住居を確保するの生活空間を保つためにクーラー等の空調整備と和式トイレの洋式化を行う。	3,373,700	3,373,700	-	3,373,700	-	-	町内に感染者や濃厚接触者の隔離場所がなかったことから、町営住宅の空き部屋を改修。	住宅使用回数:0回 町内感染者:0人
35	教育委員会	運動機会創出環境整備事業	乳児期の運動発達を促すため、リズム運動を重視しているが今回のコロナウイルスで密な状態を避けるため制限されている。運動できる器具を整備することで運動発達を促す。 対象施設:本山保育所	484,200	484,200	-	484,200	-	-	整備による密の回避、使用制限の解除、運動発達の促進を図る。	屋内外における運動器具等11点を整備。利用定員100名の保育環境下において密を回避した運動が可能となった。
36	まちづくり推進課	本山町営業時間短縮要請協力金	高知県実施の休業等要請に応じた町内中小企業または個人事業主への本山町独自の乗せ支援を行う。 令和2年12月16日～令和3年1月11日までの期間において、営業時間短縮又は休業に協力していただいた事業者に対し、1日あたり1万円の協力金を支給する。 対象者:町内事業者	1,950,000	1,950,000	-	1,950,000	-	-	高知県実施の休業等要請に応じた町内中小企業または個人事業主への本山町独自の乗せ支援(上限200,000円)	高知県実施の休業等要請に応じた町内中小企業または個人事業主への本山町独自の乗せ支援を行った。 実績額 10事業者:1,950,000円
37	まちづくり推進課	本山町産直・交流施設「さくら市」運営事業	直販所内に新規オープンした「おむすび処」が好評につき、町外からの来店者が大きく増加した。コロナ禍における感染予防対策の観点から、換気機能を装備したエアコンを新設するとともに、出入口の床レールを自動ドア用のガイドレールに取り換えて開閉動作を機能UPし、来店者の利便性の向上と、入出店の速やかな誘導に繋げ、混雑を防止する。 対象施設:本山さくら市	981,000	981,000	-	981,000	-	-	換気機能付きエアコンの導入及び自動ドア用ガイドレール改修	施設への感染予防対策が行われ、来店者の利便性向上につながった。 施設利用者感染件数:0件
38	まちづくり推進課	一般観光費 (可搬型ユニットトイレ 県2/3 町1/3)	コロナ禍におけるアウトドア観光振興のため、登山客向けのパイオトイレ整備し利便性の向上を図るとともに、コロナ対策への注意喚起も含めた町内案内や登山道の見どころマップを記した看板も一体で整備する。	9,000,000	8,823,000	-	3,300,000	5,523,000	177,000	パイオトイレ整備及びコロナ対策への注意喚起も含めた町内案内や登山道の見どころマップを記した看板も一体で整備する。	循環式水洗トイレユニット設置するとともに、観光案内看板を整備することで登山客の満足度向上につながった。
39	教育委員会	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にしながら、十分な教育活動を継続し児童の学びを保障するため、3密、換気、手指消毒などの感染防止対策と夏季休業期間短縮等に伴う熱中症対策等を図る。 対象施設:本山小学校、吉野小学校、嶺北中学校	3,003,019	3,000,000	1,500,000	1,500,000	-	3,019	学校における感染対策のため、必要な3密対策、衛生対策、換気対策を実施し、学校活動での新型コロナウイルス感染拡大を防止する。	学校感染件数:0件
40	住民生活課	避難所コロナ感染防止対策整備事業 福祉センター	真空式温水ヒータが経年による機能低下がみられ、室温を十分に保てない状態にある。指定避難所である社会福祉会館に被災者が避難してきた際に3密の発生を回避するため整備を行う。 対象施設:本山社会福祉会館	1,650,000	1,650,000	-	1,650,000	-	-	定期的な換気を行った後など室温を一定に保つ。	施設利用者感染件数:0件
41	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」 上部消化管汎用ビデオスコープの整備	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者の受入も実施している。 上部消化管汎用ビデオスコープは、新型コロナウイルス感染症患者の肺炎の診断や治療に使用する。肺塞栓診断や中心静脈カテーテル挿入などの想定外の治療に使用するなど高齢者を抱える過疎地域の公立病院であり新型コロナウイルス感染症の協力医療機関には必要である。 対象施設:嶺北中央病院	14,223,000	14,223,000	-	14,223,000	-	-	上部消化管汎用ビデオスコープ R3年度見込み:70件	新型コロナウイルス感染症患者等の肺炎の診断や治療に使用し、肺塞栓診断や中心静脈カテーテル挿入などの想定外の治療に使用できた。 R3年度実績:94件
42	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」 医療用画像情報システムの整備	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者及びコロナ陽性患者の入院の受入も実施している。 医療用画像情報システムは、新型コロナウイルス肺炎等の撮影に使用するシステムでコロナ患者の治療に用いる。また新型コロナウイルス感染症の病状の変化を把握するには必要である。 対象施設:嶺北中央病院	8,495,300	8,495,300	-	8,495,300	-	-	医療用画像情報システム CT撮影R2年度見込み:200件 単純撮影R2年度見込み:731件	新型コロナウイルス感染症患者等の肺炎等病状の変化を把握できた。 CT撮影R2年度実績:215件 単純撮影R2年度実績:731件

No.	担当課	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費					補助対象外経費	成果目標 (定量指標)	事業実施による効果検証
				補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	その他	補助対象外経費			
43	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」血液分析装置の整備	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者及びコロナ陽性患者の入院の受入も実施している。血液分析装置は、新型コロナウイルス感染症患者を治療する際に使用する。患者の血液を採血した際、結果を出す時間を短縮し治療を迅速に行い、新型コロナウイルス肺炎等の治療に用いる。新型コロナウイルス感染者の病状の変化を把握するには必要である。 対象施設：嶺北中央病院	10,010,000	10,010,000	-	10,010,000	-	-	血液分析装置 R2年度見込み：8500件	血液分析装置は、新型コロナウイルス感染症患者等を迅速に治療することが出来た。 検査件数実績：9097件
44	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」職員住宅の整備 塙等の整備（外部からのプライバシーの保護や安心して働けるような体制を整備する）	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者及びコロナ陽性患者の入院の受入も実施している。新型コロナウイルスの入院患者に接する医療従事者が家族への感染の恐れを感じており、帰宅することを躊躇している。現在病院敷地内にある職員住宅を利用することで医療従事者が、安心して働けるように職員住宅の整備を行う。 対象施設：嶺北中央病院	6,303,000	5,895,551	-	5,895,551	-	407,449	技術職員住宅整備工事	コロナ患者入院に携わった医療従事者が職員住宅を使用することで、職員や家族への感染の不安の解消につながった。住宅利用者は、看護師6名・医療技術者4名の利用があった。
45	政策企画課	観光施設等緊急整備事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな打撃を受けた本県の観光需要の早期回復を図るため屋外観光施設及び宿泊施設にWi-Fiの整備を行う。	3,250,500	3,250,500	-	1,250,500	2,000,000	-	屋外観光施設及び宿泊施設（モンペルアウトドアヴィレッジ本山）へのWi-Fi整備による施設利用者数の増加 施設利用者前年比5%増加 ・R1利用者数 63,188人 ・R2利用者数 58,674人	施設利用者数の増加 ・R2利用者数 58,674人 ・R3利用者数 62,879人 利用者増加率 6.68%
46	教育委員会	学校等連絡網整備事業	新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業等を保護者に速やかに通知する連絡アプリを整備し、デジタル化によって保護者や学校職員等の負担軽減を図る。 ④本山小学校、吉野小学校、嶺北中学校、本山保育所、学校等保護者	429,000	429,000	-	429,000	-	-	新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業等を保護者に速やかに通知する連絡アプリを整備し、デジタル化によって保護者や学校職員等の負担軽減を図る。	R3.5月 登録児童生徒数：244名
47	総務課	行政事務ICT環境推進事業	行政事務に係るオンライン会議や在宅勤務の推進を図るため、タブレット端末の導入等ICT環境の整備を図る。	1,692,900	1,692,900	-	1,692,900	-	-	タブレット端末導入15台	職員同士が接触する機会が減少した。 職員感染者数：0人
48	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」新型コロナウイルス感染症対応の病原体検査事業	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者及びコロナ陽性患者の入院の受入も実施している。現在、保健所等行政機関を通じての検査診断は約2日の日数、民間の検査機関への検査診断には約4日の日数がかかる。そのため、新型コロナウイルスの陽性診断に時間を要し、感染拡大につながる懸念がある。そこで早期発見し診断を行うため遺伝子検査機器を導入することで、約13分で診断ができる検査機器の整備を行う。 対象施設：嶺北中央病院	1,794,485	1,794,485	-	1,794,485	-	-	遺伝子検査機器 検査件数・陽性者数 R3.2.16～R3.3.31 実績：25件 見込み：20件 R3.4.1～R4.3.31 見込み：700件	検査件数・陽性者数 R3.2.16～R3.3.31 実績：25件 R3.4.1～R4.3.31 実績：895件
49	嶺北中央病院	「一般会計繰出・補助」高性能サーモグラフィによる非接触体表面温度測定事業	R2.3月より新型コロナウイルス協力病院となりPCR検査も実施しており、また擬コロナ患者及びコロナ陽性患者の入院の受入も実施している。現在、職員による検温を入口において実施しているが、陽性患者を受け入れることにより職員の負担が増え、人員配置に支障が生じた。AI顔認証サーマルカメラを1F入口と地下入口に設置することで、外来患者からの感染対策を講じるとともに、人員の病棟への配置を強化する。 対象施設：嶺北中央病院	1,710,500	1,710,500	-	1,710,500	-	-	AI顔認証サーマルカメラ用モニター整備	来院時37.5度以上の体温の患者等の抽出ができるようになった。発熱者にはランプが点灯して受付等に通知する仕組みが構築でき、病院職員、他の患者への感染防止に繋がった。